取扱説明書

保存用

000-00C

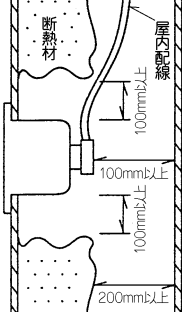
工事店・電器店様へのお願い

この取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

■はじめに

この器具をご使用になる前に、必ず本説明書をよくお読みになり、安全上の注意事項を充分にご理解ください。

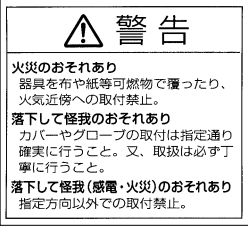
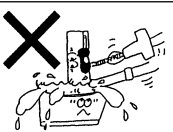
安全に関する事項は、本説明書の「安全上のご注意」または器具本体に貼付しているラベルの ⚠警告 と ⚠注意 のマークによって、特に注意を引くように表示しています。

⚠警告 誤って使用しますと、事故により使用者が重傷を負う危険があります。

⚠注意 誤って使用しますと、使用者が傷害を受けたり、物的損害の発生が想定されます。

⚠警告 ⚠注意 マークの内容を厳守し安全・快適にご使用ください。

(例)

⚠警告

火災のおそれあり
器具を布や紙等可燃物で覆ったり、火気近傍への取付禁止。
落下して怪我のおそれあり
カバーやグローブの取付は指定通り確実に行うこと。又、取扱は必ず丁寧に行うこと。
落下して怪我(感電・火災)のおそれあり
指定方向以外での取付禁止。

■安全上のご注意

⚠ 警　告

この器具は、一般通常環境(本説明書用語欄参照)の屋外防雨形壁埋込専用器具です。下記の使用環境・条件では、使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。

- ●一般通常環境以外の所
- ●浴室　●サウナ風呂
- ●湿気の多い所
- ●天井面
- ●床面

使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、お問合せください。

交流電源をご使用ください。また、電源周波数は器具銘板に従って正しく使用してください。感電・火災の原因になります。(インバータおよび白熱灯器具は50Hz・60Hz共用です。)

電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±6%内でご使用ください。ランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し感電・火災の原因になります。

三相四線、単相三線式の配線下で使用する場合には、負荷のバランスをとり、ブレーカーは中性線が他相線路より後に遮断される仕様のものをご使用ください。焼損の原因になります。

電動機等を使用する電源回路には、器具を接続しないでください。高調波と過度の電圧変動により、焼損・不点の原因になります。

⚠ 警　告

単体では使用できません。器具本体表示または本説明書に従って、適正な組合せでご使用ください。落下・感電・火災の原因になります。

火気等の近くでは、使用しないでください。落下・感電・焼損の原因になります。

取付けの際は、器具各部にヒビ、割れ、カケ等の異常がないことをご確認のうえご使用ください。落下の原因になります。

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。落下・感電・火災の原因になります。

屋内配線は、本説明書に従って確実に接続してください。接触不良により感電・焼損の原因になります。

屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かくが、造営物・ダクトに直接触れないように施工してください。感電・火災の原因になります。

配線部品を使用する場合は、破損していないことを確認のうえ使用してください。落下・損傷の原因になります。

取付方向は、器具本体表示または本説明書に従って正しく施工してください。感電・火災・ケガの原因になります。

断熱施工の中空壁に使用する場合には、下記の施工が必要です。誤った施工をしますと、火災の原因になります。

- ●屋内配線は、断熱材・防音材で覆わないでください。
- ●断熱材・防音材で、器具本体の放熱穴をふさがないでください。
- ●断熱材・防音材・壁材と器具は、100mm以上離してください。
- ●断熱材、防音材と内壁とは最低200mm必要です。

器具の改造、部品の変更は行わないでください。落下・感電・火災等の原因になります。

濡れた手で器具を操作しないでください。感電・故障の原因になります。

カバー、グローブ、枠、飾り等の着脱は、器具本体表示または本説明書に従って確実に行ってください。落下の原因になります。

器具に他の荷重をかけないでください。落下・感電・焼損の原因になります。

⚠ 警　告

器具を布や紙等の可燃物で覆わないでください。また、燃えやすい物を近づけたり、異物を差込んだりしないでください。落下・感電・火災の原因になります。

安全機構が付加されている場合は、必ず使用してください。落下・感電・火災の原因になります。

ランプ交換やお手入れの際は、電源を切ってください。感電の原因になります。

煙・臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。感電・火災の原因になります。工事店、お買い上げの販売店、または当社もよりの支店にご相談ください。

⚠ 注　意

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

器具銘板と梱包ケース、および本説明書の品番が一致しているか確認してください。

器具取付面は、ベースパッキンの大きさ以上の平らな面に仕上げてください。感電・火災の原因になります。

器具、部品の取付け状態および点灯状態に異常がないことを確認のうえご使用ください。落下・感電・火災の原因になります。

器具や部品の取扱いは丁寧に行ってください。落下・破損の原因になります。

ランプの取扱いは丁寧に行ってください。特に着脱の際は、ランプホルダーやランプ支持バネ等で強く弾かないでください。ランプの落下・破裂・破損の原因になります。

ランプをソケットに装着する際は、器具本体表示または本説明書に従って確実に行ってください。焼損・不点の原因になります。

照明器具には寿命があり、照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態においては、約8〜10年です。外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。
器具本体表示または本説明書に従って、6ヵ月に1回定期的に保守、点検を行ってください。また、3〜5年に1回は有資格者に点検を依頼してください。点検を行わずに長時間使用しますと、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
一般的な使用条件に比べて周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1 解説による。)

⚠ 注　意

点灯中や消灯直後のランプや器具は高温になっていますので、手を触れないでください。火傷の原因になります。

部品交換の際は、器具本体表示または本説明書に記載されたもの以外は、使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。

黒化したり、チラツキがでたランプは、新しいものと交換してください。焼損の原因になります。

器具、ランプの汚れは、乾いた布等で拭き取ってください。水洗いをしますと、感電・故障の原因になります。

■用　語

●一般通常環境

下記のような場所を除いた環境をさします。

1. 周囲温度が20±15℃を超える場所。
2. 粉じんが多い場所、振動が激しい場所、水中、機械、家具内。
3. 可燃性ガス、腐食性ガス等の発生する場所。(炭鉱内、海岸地区、温泉地区、重工業地区等)
4. 器具取付面に結露が発生する場所、手術室等の無菌室。

■保　管

保管の際は下記の要領で行ってください。

- ●購入時と同じ状態で梱包してください。
- ●梱包ケースは、ケース表示に従い、正しい方向で保管してください。
- ●梱包ケースの上に物を置かないでください。
- ●梱包ケースに局部的な外圧をかけないでください。
- ●常温(20±15℃)、常湿(65±20%)の場所に保管してください。

■廃　棄

使用済の照明器具は、所轄の地方自治体が定めた方法にもとづき、適正に処理してください。なお、廃棄の際にはケガをしないよう手袋等をご使用ください。

■商品についてのご相談・お問合せ

商品のお問い合わせ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付している器具銘板で品番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは下記の相談窓口までご連絡ください。

相談窓口	商品についてのご相談	修理・アフターサービスのご相談(ダイコーエンジニアリング株式会社)
北海道地区	TEL (011) 561-8067	TEL (011) 561-8152
東北地区	TEL (022) 284-5611	TEL (022) 284-5611
東京地区	TEL (03) 5600-7806	TEL (03) 5600-3445
東関東地区	TEL (048) 652-1015	
西関東地区	TEL (045) 941-6310	TEL (045) 941-6331
中部地区	TEL (052) 821-6276	TEL (052) 821-7105
関西地区	TEL (06) 6711-2840	TEL (06) 6971-4443
中四国地区	TEL (082) 247-6711	TEL (082) 246-2162
九州地区	TEL (092) 531-3164	TEL (092) 531-4744

※電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。(平成17年4月1日現在)

本社　〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 3-2-7　高麗橋ビル
TEL (06) 6222-6240 (代)

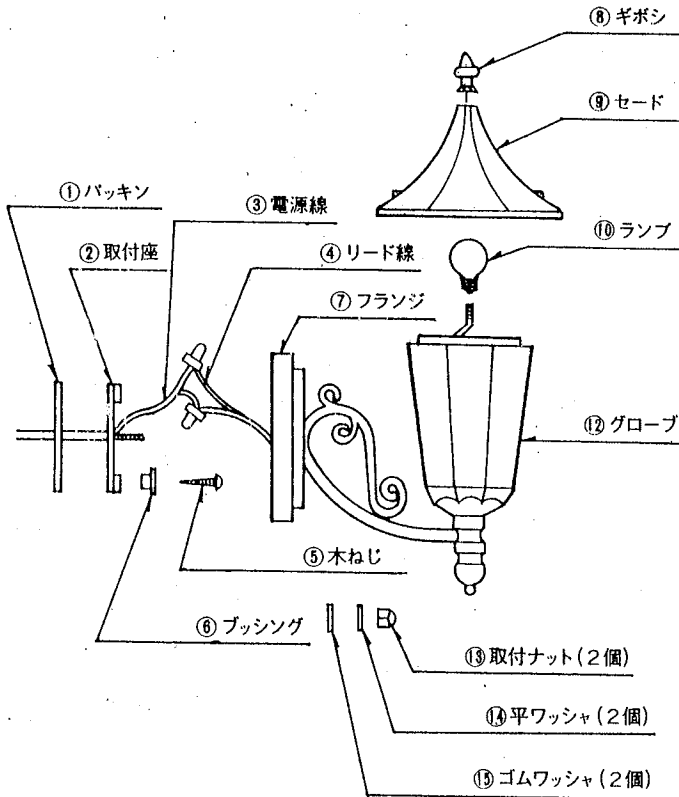
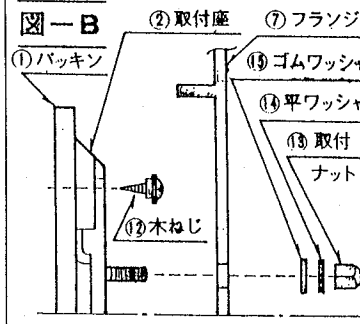
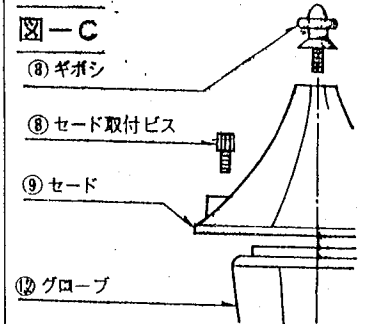
(裏面もご覧になって正しくご使用ください。)

白熱灯
門　灯

取扱説明書

※これは共通説明書ですので、お買上げのセードと下図とが異なる場合があります

■この説明書は工事が終りましたら、この器具をお客様にお渡し下さい。

■各部の名称

注 ※D59―4676は滴型ですので、強い雨のあたらない場所にご使用下さい。

■器具の取付け方法

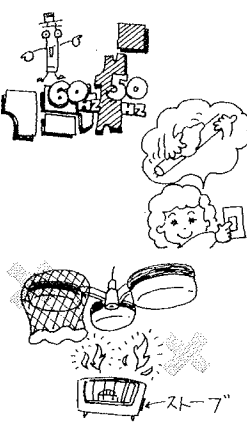
1. パッキングケースより器具を取り出し、図一Aにより部品及び附属部品の確認を行なって下さい。
2. 図一Aを参考に電源線③をパッキン①及び取付座②の電源穴に通して下さい。
3. 図一Bを参考にパッキン①取付座②をブッシング⑥を付けた木ねじ⑤で壁にしっかり止めて下さい。
   この時7127はボルトでしっかりと固定して下さい。
4. 電源線③とリード線④を結線して下さい。
   この時、必らずアース工事を行なって下さい。
5. 図一Bを参考にフランジ⑦を取付座②にかぶせ、ゴムワッシャ⑮、平ワッシャ⑭の順にはめ取付ナット⑬で固定して下さい。
6. ランプ⑩を取付け点灯の確認を行なって下さい。
7. 図一Cを参考にセード⑨又はグローブ⑫を、ギボシ⑧で止めて下さい。

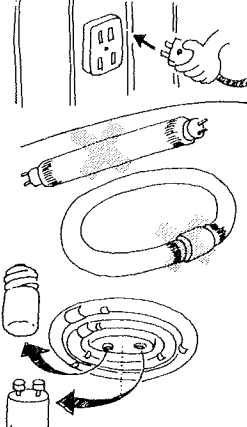
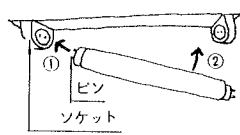
お客様へ

■ランプ交換及び清掃方法

裏面をよくご覧になってからランプ交換を行って下さい。
尚、清掃の際は図一A・Bを参照し、取付方法の逆で行って下さい。

■適合ランプ

器具に貼付けてあるW数ラベルの表示ランプを御使用下さい。
表示ワット(W)以外の電球は使用しないで下さい。

裏面もご覧になって正しくご使用下さい。

あかりのチェックカード

● このたびは弊社照明器具をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
● このカードには、あかりを安全・快適にご使用いただくためのチェックポイントがまとめられています。よくお読みになった後はぜひ保存していただき、あかりの正しいお取扱いにお役立てください。
● もし電源の工事が必要な場合は、電気店などの専門家にまかせましょう。素人工事は事故の原因ともなり、大変危険です。

使用上のご注意

項目	内容
Hz（ヘルツ）	・インバータ器具を除く蛍光灯と水銀灯には、電源の周波数に応じて東日本用（50Hz）と西日本用（60Hz）の区別があります。ご使用の際、特に引越のときなどは、この区別をお確かめ下さい。まちがえてご使用になりますとランプ寿命が短くなったり過熱して焼損などのもとになります。
電源スイッチ	・お手入れの際やランプ、グローランプの交換の際は、危険ですので必ず電源を切って下さい。
ワット(W)数	・器具には決められたランプの種類・ワット数が表示してあります。表示以下のランプをご使用下さい。表示以上のものをご使用になりますとランプの熱でグローブなどが変色・変形することがあります。
湿気・温度	・ストーブや調理レンジの上など、温度の高くなる場所や水蒸気がかかったりする場所には使用しないで下さい。器具が過熱損傷します。
改造・加工	・光源・スタータなどを除き、器具の構成部品の交換，器具の改造（部品の追加を含む）はしないで下さい。 ・紙や布でランプ・器具を覆ったり、セード穴をふさいだりする素人加工はしないで下さい。過熱してこげたり、火災を起す恐れもあり危険です。
適正使用	・器具の適正な取付場所以外には使用しないで下さい。例えば、屋外用以外の器具を屋外で使用するなど。

おかしいと思ったら修理の依頼をする前にちょっとチェックを！

項目	内容
電源	・電源コードはコンセントにきっちりと差し込まれていますか？（ぬれた手のままで絶対に取扱わないで下さい。必ず手を充分にふいてからにして下さい。）
ランプ	・ランプがソケットにきっちりと差し込まれていますか？蛍光灯ソケットには下記の種類があります。 ・蛍光灯の両端が黒くなっていたり、点灯中にちらついたりしたときは新しいランプとお取替え下さい。 ・ランプの口金は多少動くようになっていますが、無理に回さないで下さい。 ・一方のソケットにランプのピンを入れて、①の矢印のように押しながら②の矢印のようにもう一方のピンをはめこんで下さい。 ・ランプを抜き取ったときのソケットの状態 ／ ・ランプが入っているときのソケットの状態 ・ランプのピンをソケットの溝にまっすぐ入れ、カチッと小さな音がするまで90°回して下さい。
点灯管（グローランプ）	・点灯管がゆるんでいませんか？ ・点灯管が古くなり、点灯に時間がかかるようになったときは、新しい点灯管とお取替え下さい。

正しい清掃方法

項目	内容
殺虫剤 シンナー	・カバー、グローブなどはプラスチックを使用したものが多くありますので、器具に殺虫剤を噴霧したり、シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないで下さい。変質する恐れがあります。
金属 プラスチック 木部	・やわらかい布に中性洗剤かせっけん水をつけて、よくしぼってから拭いて下さい。タワシやかたい布、みがき粉などは傷がつきますので使わないで下さい。また、木部のほこりは、やわらかいハケやブラシで落して下さい。
メッキ部	・乾いたやわらかい布で拭いて下さい。汚れのひどいときは、湿した布で拭きますが、そのとき強くこすらず軽く何度も拭くようにして下さい。後に乾拭きで仕上をして下さい。乾拭きが不充分なままですと、長い間には、さびや変色の原因となりますのでご注意下さい。
ガラス部	・ガラス部分は、水洗いをして汚れを落して下さい。（消しグローブを素手でさわると指紋などのしみがつきますので手袋又は、ポリ袋などを用いて取付けて下さい。）
グローブ カバー	・ガラスグローブやプラスチックカバーなどのお手入の際は、割れる恐れがありますので、縁を持ち上げないで下さい。

製品に対するご相談・お問合せ……………お買求めの販売店もしくは、もよりの営業所・出張所までお気軽にご連絡下さい。

本　社　大阪市東成区中道3丁目15-16(毎日東ビル)
〒537 ☎ (06)972-5555(代)
ライティング・コア大阪　大阪市東成区中道3丁目15-16(毎日東ビル)
〒537 ☎ (06)972-5111(代)
ライティング・コア札幌　札幌市中央区南2条西8丁目
〒060 ☎ (011)271-0136
ライティング・ラボ　東京都港区海岸1-15-8(鈴江ビル4F)
〒105 ☎ (03)3438-0400(代)

札幌支店 (011)561-8067(代)
旭川営業所 (0166)22-2685(代)
釧路営業所 (0154)52-3143(代)
函館出張所 (0138)49-5141(代)
北見出張所 (0157)25-8176(代)
仙台支店 (022)284-5611(代)
青森営業所 (0177)42-4241(代)
秋田出張所 (0188)46-0888(代)
盛岡出張所 (0196)41-2247(代)
郡山営業所 (0249)51-7507(代)
東京支店 (03)3433-3551(代)
関東支店 (045)921-2731(代)
東京中央営業所 (03)3433-8701(代)
東京城東営業所 (03)3521-9391(代)
東京城南営業所 (03)3758-3421(代)
東京城北営業所 (03)3550-3511(代)
三多摩営業所 (0426)45-9761(代)
神奈川営業所 (045)921-2731(代)
北関東営業所 (0286)37-1461(代)
水戸営業所 (0292)47-7721(代)
高崎営業所 (0273)52-2301(代)
千葉営業所 (0472)54-5131(代)
埼玉営業所 (048)652-1015(代)
熊谷出張所 (0485)21-7400(代)
新潟営業所 (025)283-3811(代)
静岡営業所 (054)237-0086(代)
長野営業所 (0262)43-8045(代)
名古屋支店 (052)821-6276(代)
三河出張所 (0564)55-0651(代)
浜松出張所 (053)463-8817(代)
北陸営業所 (0762)48-6877(代)
大阪支店 (06) 972-8861(代)
近畿中央支店 (06) 972-5551(代)
京滋営業所 (075)672-5899(代)
兵庫営業所 (078)371-6471(代)
阪和出張所 (0724)37-5368(代)
北大阪出張所 (0726)23-8071(代)
広島営業所 (082)247-6711(代)
岡山営業所 (0862)43-9281(代)
山口出張所 (0839)25-6299(代)
山陰出張所 (0859)29-9934(代)
高松営業所 (0878)61-5023・5039
松山出張所 (0899)33-2810(代)
福岡支店 (092)531-3164(代)
南福岡出張所 (0942)43-3951(代)
北九州出張所 (093)541-1606(代)
熊本営業所 (096)384-6940(代)
鹿児島営業所 (0992)67-8100(代)
沖縄出張所 (0988)55-4260(代)